

全情報記載 OK ・ 名前はイニシャルでその他は OK ・ 記載は希望しない

名前 高橋映乃 性別 男・女 年齢 19 才 留学国 マレーシア

- ① 現在の留学期間 留学期間： 9 か月・ 0 年
- ② 留学して英語力は伸びたと思いますか？ かなり伸びた・伸びた・あまり変化なし
- ③ 住む場所に変更はありましたか？（あった場合は順番に記載下さい）

ありました。

留学の初期は大学のすぐ横にある寮に住んでいましたが、寮の不便性を感じていたことや寮には 4 ヶ月以上すると引越しができるというルールがあるため、半年経った頃には大学からそう遠くなく交通費もかからずに大学へ行くことができるマンションを見つけ、そちらへ移動しました。元々寮にいた際は、二人部屋を希望して最初は日本人のルームメイト、次はインドネシアのルームメイトがいました。しかし、マンションに移動する際には、unit を友達と一緒に借りる形にしたため、日本人の友達二人と一緒に三人暮らしをしているような感じです。

- ④ 英語力を伸ばす為に注意や努力している事は？

友達とたくさん話すこと。さまざまな国籍の人がいる大学なため、友達も色々な人種が集まります。その中でたくさん人と話すことによって国による英語の違いを学べたり、自分の知らない新しい単語を学ぶことができます。特に writing に関しては、毎日外国の友達と連絡をしているため、英語で文字を打つということを繰り返すことで返答も早くなったように感じます。

- ⑤ 海外の生活に慣れる為に注意や努力している事は？

- ・現地民の行動をたくさん見る→どのようにして道を歩くのか、どのような言葉がマレーシア独自で使われているのか（スラング系）など
- ・現地の友達とたくさん話して、マレーシアの文化や食・生活などについての知見を高めること
- ・たくさん出かける機会を作って、新しい場所や交通機関・外国人に慣れること

- ⑥ 留学中、今までで一番大変・困った事は？

・出かけている際に、イベントが理由でタクシーを呼ぶことができず、それにプラスして携帯の充電が切れて帰る術を失ったこと。

しかし、その際に友達と近くの屋台を出している人のところへ行き、充電器を貸していただいて、充電している間にお店の人とどうやって帰ろうかと相談し、最終には無事帰ることができた。

- ⑦ 日々の学習・生活で大変・困る事はありますか？

学習面

言語の壁。授業は英語で行われるため、先生によって英語での聞き取りやすさが異なり、それが理解度にも影響する。また全ての内容をその場ですぐに理解することはできないため、復習が必要になってくる。

生活面

留学した当初は学生寮に住んでいたため、学食で自分の好きなものを食べるということが続き健康的な食生活を送ることができなかった。しかし、引っ越しして以降は、友達に教えてもらった安いスーパーで買い物をし、その食材で自炊するという生活を送るようになったため健康的な生活を維持できている。今は、運動が足りていないため、後々マンションについているジムを利用して、さらに健康的な生活を送りたいと思っている。

⑧ どの位の頻度で日本の家族と連絡を取っていますか？

留学当初は毎日というほど電話をしていて、その日にあったことを話していたが、友達ができ遊ぶことが増えるようになってからは電話する頻度は極端に減った。電話をするのは何かについて相談するときくらいで、それ以外はLINEでのメッセージのやり取りだけになった。LINEをする頻度も前よりは減ったが、何か買おうとする時や何かいい報告があった時などに連絡している。また、引っ越して以降は、毎日の自炊した料理の写真をお母さんに送るようにしていた。

⑨ 日本の方が良いと感じる点

衛生面

トイレに行った際に、床がびしょ濡れなのは日本ではないこと。だからこそ、日本のトイレの快適さ、そしてトイレットペーパーを気軽に流せることの良さも感じる。友達は、ローカルなフードストリートなどに行った際に取り分ける用のお皿やお箸を見ていつも除菌シートで拭いてから使用するようにもしていた。

安全面

やはり日本よりも危険な話を聞くことが多いように感じる。ドラッグで亡くなった人の話などを聞く回数が多い。また、マレーシアには野良犬がいることも常日頃恐れている。日本では野良犬はいないが、マレーシアでは野良犬による狂犬病を懸念しなければならない。さらに私はもともと犬嫌いなこともあるため、道を歩いているときに犬を見たらいつも恐怖心が芽生えている。だからこそ知らない道や通学路以外の道では基本的に一人で歩かないようにして友達と歩くようにしている。

⑩ 留学先の方が良いと感じる点

- ・フードコートなどでご飯を食べ終えた際に、食器をそのまま机に置いたままにしていいこと。日本では片付けることが基本なため、そこがより楽に感じる
- ・人が優しいこと。何か困った際に取りあえず周りの人に聞けば助けてくれる
- ・公共交通機関の利便性と安さ。電車の乗り方を覚えれば、大体の場所は電車で日本よりも安い値段で行くことができる。また例え電車が近くにない場所だとしてもタクシー機能のアプリを利用すれば、日本よりも安い値段でどこへでも行くことができる。
- ・外食をしても安いこと。自炊するよりも外食する方が安いと言われるほど、食事にかかる費用が少ない。そのため、日本の大学生活を送るよりもかなり安い費用で食費を抑えることができると思う。友達とタピオカを飲みに行こうという話になったとしても日本同様にたくさんの店があり、かつ日本よりもはるかに安い値段で飲むことができる店は、手頃に飲むことができタピオカ好きの私には嬉しい。